

2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月7日

上場会社名 日本パーカライジング株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4095 URL <https://www.parker.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 青山 雅之  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート本部長 (氏名) 相島 敏行 (TEL) 03-3278-4333  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期 第1四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期 第1四半期	31,876	5.0	3,413	△6.6	4,033	△17.8	2,810	△7.1
2025年3月期 第1四半期	30,344	6.0	3,654	14.9	4,909	14.9	3,024	12.1

(注) 包括利益 2026年3月期 第1四半期 △2,108百万円( -%) 2025年3月期 第1四半期 5,859百万円( △7.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期 第1四半期	24.73	—
2025年3月期 第1四半期	26.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期 第1四半期	256,085	215,591	73.6	1,673.42
2025年3月期	267,250	223,298	73.0	1,700.16

(参考) 自己資本 2026年3月期 第1四半期 188,426百万円 2025年3月期 195,218百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	131,000	△1.0	14,000	△6.7	18,500	△7.2	12,000	△8.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2025年8月7日開催の取締役会において、自己株式の取得について決議しました。2026年3月期の連結業績予想における「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の影響を考慮しています。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	132,604,524株	2025年3月期	132,604,524株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	20,004,586株	2025年3月期	17,781,376株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	113,643,630株	2025年3月期1Q	115,307,343株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
3. 補足情報	12
(1) 四半期毎の業績の推移（連結）	12
(2) 報告セグメントの所在地別売上高及び利益又は損失の金額に関する情報	13

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により個人消費に持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復傾向で推移しました。一方で、原材料・鋼材価格の高止まりや米国の関税措置による影響など懸念材料もあり、先行きは不透明な状況が続いております。また、世界経済におきましても、米国経済が堅調に推移するなど回復基調となりましたが、継続的な物価上昇や米中貿易摩擦に伴う景気減速懸念など、先行きが見通しづらい状況が続いております。

当社グループの主要な供給先であります自動車業界では、前期発生した認証不正問題の影響等がなくなり、国内の生産台数は前年をやや上回る水準で推移しました。また、海外では、インド、メキシコ、中国などでは生産台数が前年を上回りましたが、米国、タイ、韓国、インドネシアなどでは前年割れで推移しました。もう一つの柱であります鉄鋼業界においては、国内では資材高・人手不足などの影響により建設向け需要が低調となったほか、製造業分野でも伸び悩んだため、粗鋼生産量は前年を下回る水準となり、海外でも前年をやや下回る水準で推移しました。

このような状況のなか、当社グループでは、今期より第5次中期経営計画をスタートさせました。2028年の創業100周年に向け、品質向上、安全確保、資本効率の向上など、持続的成長を支えるためのグループ経営基盤を確立するとともに、「変革への挑戦～Challenge for Change!～」をスローガンに掲げ、1928年の創業以来培ってきた表面改質技術を通じて、既存事業の深耕、海外事業の拡大、新規分野の開拓に注力し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。また、新総合技術研究所（Parker Innovation Center）を開所させ、脱炭素社会の実現に向けた研究開発の推進や、コア技術の発展および将来を見据えた研究開発の強化にも努めております。

この結果、当第1四半期の連結業績は次のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
<b>当第1四半期累計期間 (2026年3月期)</b>	<b>31,876</b>	<b>3,413</b>	<b>4,033</b>	<b>2,810</b>
前第1四半期累計期間 (2025年3月期)	30,344	3,654	4,909	3,024
増減金額	1,531	△241	△876	△214
増減率	5.0%	△6.6%	△17.8%	△7.1%

**売上高**は318億76百万円（前年同期比5.0%増）となりました。なお、売上高は四半期開示が始まった2004年3月期から、過去最も高い水準となりました。事業の種類別セグメント毎の売上高は、前年同期に比べ薬品事業が4.0%の増収、装置事業が12.9%の増収、加工事業が3.6%の増収、その他が6.9%の増収となりました。また、地域別セグメントは、国内が10.7%の増収、アジアが2.1%の減収、欧米が0.3%の減収となりました。

**営業利益**は34億13百万円（前年同期比6.6%減）、**経常利益**は40億33百万円（前年同期比17.8%減）、**親会社株主に帰属する当期純利益**は28億10百万円（前年同期比7.1%減）となりました。

## 【為替の影響額】

海外業績の換算による損益計算書に与える影響額は、売上高で13百万円程度の増収、営業利益で15百万円程度の減益となっております。

## 【事業の種類別セグメントの概況】

(単位：百万円)

報告セグメント	外部顧客に対する売上高				セグメント利益又は損失(△) (営業利益)			
	前第1四 半期累計	当第1四 半期累計	増減額	増減率	前第1四 半期累計	当第1四 半期累計	増減額	増減率
薬品事業	14,046	<b>14,603</b>	556	4.0%	2,674	<b>2,430</b>	△244	△9.1%
装置事業	3,984	<b>4,497</b>	512	12.9%	34	<b>△101</b>	△136	△391.0%
加工事業	11,702	<b>12,123</b>	421	3.6%	1,223	<b>1,506</b>	283	23.1%
その他	611	<b>653</b>	42	6.9%	△11	<b>△46</b>	△34	△305.8%
調整額(消去)	—	—	—	—	△266	<b>△375</b>	△109	△40.9%
連結損益計算書計上額	30,344	<b>31,876</b>	1,531	5.0%	3,654	<b>3,413</b>	△241	△6.6%

## ①薬品事業

売上高は146億3百万円(前年同期比4.0%増)となり、**営業利益**は24億30百万円(前年同期比9.1%減)となりました。当事業部門は、あらゆる産業分野における素材の洗浄、防錆、塗装下地、潤滑、意匠などを目的として表面処理剤の製造・販売と、これに伴う最新のノウハウ、技術サポートを提供しております。国内では販売数量が前年同期をやや上回り、緩やかな回復基調で推移しました。また、国内外での高付加価値製品の販売増加やインド・インドネシアでの販売拡大も寄与し、薬品事業全体では売上高は増収となりました。一方利益面では、依然として高値圏で推移している原材料価格の高騰やインフレに伴う労務費・経費の増加等の影響により、営業利益は減益となりました。

## ②装置事業

売上高は44億97百万円(前年同期比12.9%増)となり、**営業損失**は1億1百万円(前年同期は34百万円の営業利益)となりました。当事業部門は、輸送機器業界を中心に前処理設備、塗装設備及び粉体塗装設備などを製造・販売しております。企業の設備投資が持ち直しの動きを見せている国内での販売拡大により、装置事業全体では売上高は増収となりましたが、中国やインドで大型案件が減少した影響もあり、利益面では営業利益から営業損失へと転換しました。

## ③加工事業

売上高は121億23百万円(前年同期比3.6%増)となり、**営業利益**は15億6百万円(前年同期比23.1%増)となりました。当事業部門は、潤滑性・高密着性などの機能性を付与する「防錆加工」、金属の強度や耐久性を高める「熱処理加工」、素材表面に薄膜金属を被膜することで高耐食性、耐摩耗性などを付与できる「めっき処理」などの表面処理の加工サービスを提供しております。自動車生産台数が前年より減少したタイやベトナム、日系自動車メーカーの販売が伸び悩んだ中国では販売が減少しましたが、国内やメキシコでは、主要取引先である自動車部品メーカーの生産回復に伴い販売が回復したほか、為替レートが円安に進んだこと等から、加工事業全体では増収増益となりました。

## ④その他

売上高は6億53百万円(前年同期比6.9%増)となり、**営業損失**は46百万円(前年同期は11百万円の営業損失)となりました。当事業部門は、ビルメンテナンス事業、太陽光発電事業を営んでいるほか、新規事業として医療機器事業にも取り組んでおります。ビルメンテナンス事業の販売は順調に推移したものの、販管費等が上昇したため増収減益となりました。

## 【投資情報】

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間	当第1四半期累計期間	増減率
減価償却費	1,620	<b>1,776</b>	9.6%
設備投資額	1,103	<b>2,417</b>	119.2%
研究開発費	496	<b>705</b>	42.0%
有利子負債	985	<b>741</b>	△24.7%

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

**資産合計**は、前連結会計年度末と比較し111億64百万円減少し2,560億85百万円となりました。流動資産は97億81百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金が80億81百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が14億46百万円、原材料及び貯蔵品が3億47百万円それぞれ減少したことによるものです。固定資産は13億83百万円減少いたしました。主な要因は、有形固定資産が9億44百万円、投資その他の資産が4億76百万円それぞれ減少したことによるものです。

**負債合計**は、前連結会計年度末と比較し34億57百万円減少し404億93百万円となりました。流動負債は33億33百万円減少いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金が22億27百万円、賞与引当金が10億79百万円それぞれ減少したことによるものです。固定負債は1億24百万円減少いたしました。主な要因は、退職給付に係る負債が55百万円、繰延税金負債が36百万円それぞれ減少したことによるものです。

**純資産合計**は、前連結会計年度末と比較し77億7百万円減少し2,155億91百万円となりました。主な要因は、自己株式が26億31百万円増加し、為替換算調整勘定が41億51百万円、非支配株主持分が9億15百万円それぞれ減少したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は73.6%と前連結会計年度末と比較し0.6ポイント増加し、1株当たり純資産は1,673円42銭と26円74銭減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月13日に公表いたしました2026年3月期の連結業績予想から変更はありません。なお、業績予想の変更が必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間末 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	77,808	69,726
受取手形、売掛金及び契約資産	44,525	43,079
有価証券	901	879
商品及び製品	4,008	3,828
仕掛品	85	47
原材料及び貯蔵品	7,238	6,891
その他	5,503	5,762
貸倒引当金	△2,203	△2,128
流動資産合計	137,868	128,087
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	32,823	31,948
機械装置及び運搬具（純額）	14,309	13,527
土地	18,204	18,058
建設仮勘定	2,655	3,490
その他（純額）	3,184	3,206
有形固定資産合計	71,177	70,232
無形固定資産	4,671	4,709
投資その他の資産		
投資有価証券	34,482	34,155
退職給付に係る資産	3,392	3,451
繰延税金資産	1,873	1,860
その他	13,872	13,677
貸倒引当金	△89	△88
投資その他の資産合計	53,532	53,055
固定資産合計	129,381	127,998
資産合計	267,250	256,085

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間末 (2025年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,286	14,058
短期借入金	200	200
未払法人税等	1,604	1,670
賞与引当金	2,504	1,424
役員賞与引当金	93	29
その他の引当金	617	391
その他	11,311	11,508
流動負債合計	32,617	29,283
固定負債		
長期借入金	250	250
退職給付に係る負債	3,482	3,426
役員退職慰労引当金	246	237
繰延税金負債	6,249	6,212
その他	1,106	1,082
固定負債合計	11,334	11,210
負債合計	43,951	40,493
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,560	4,560
資本剰余金	5,489	5,489
利益剰余金	171,426	171,358
自己株式	△15,945	△18,576
株主資本合計	165,530	162,831
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,611	11,762
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	15,172	11,021
退職給付に係る調整累計額	2,903	2,810
その他の包括利益累計額合計	29,687	25,595
非支配株主持分	28,080	27,165
純資産合計	223,298	215,591
負債純資産合計	267,250	256,085

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	30,344	31,876
売上原価	19,869	21,159
売上総利益	10,475	10,716
販売費及び一般管理費	6,820	7,303
営業利益	3,654	3,413
営業外収益		
受取利息	210	190
受取配当金	381	353
受取賃貸料	190	178
持分法による投資利益	220	304
為替差益	451	—
その他	56	110
営業外収益合計	1,509	1,137
営業外費用		
支払利息	7	6
賃貸費用	84	80
為替差損	—	216
租税公課	69	—
その他	93	212
営業外費用合計	254	516
経常利益	4,909	4,033
特別利益		
固定資産売却益	0	10
投資有価証券売却益	—	583
ゴルフ会員権売却益	50	—
特別利益合計	50	594
特別損失		
固定資産除売却損	15	28
事業構造改善費用	—	44
その他	0	2
特別損失合計	15	75
税金等調整前四半期純利益	4,944	4,552
法人税等	1,320	1,327
四半期純利益	3,624	3,224
非支配株主に帰属する四半期純利益	599	414
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,024	2,810

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	3,624	3,224
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△301	156
為替換算調整勘定	2,308	△5,001
退職給付に係る調整額	△130	△92
持分法適用会社に対する持分相当額	358	△395
その他の包括利益合計	2,234	△5,332
四半期包括利益	5,859	△2,108
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,718	△1,282
非支配株主に係る四半期包括利益	1,140	△825

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	薬品事業	装置事業	加工事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	14,046	3,984	11,702	29,733	611	30,344	—	30,344
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	355	83	12	451	11	462	△462	—
計	14,401	4,068	11,715	30,185	622	30,807	△462	30,344
セグメント利益又は 損失(△)	2,674	34	1,223	3,932	△11	3,921	△266	3,654

(注) 1 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、ビルメンテナンス事業、太陽光発電事業などを含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△266百万円には、セグメント間取引消去90百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△357百万円が含まれております。なお、全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術研究費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	薬品事業	装置事業	加工事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	14,603	4,497	12,123	31,223	653	31,876	—	31,876
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	355	169	10	535	1	537	△537	—
計	14,959	4,666	12,133	31,759	654	32,413	△537	31,876
セグメント利益又は 損失(△)	2,430	△101	1,506	3,835	△46	3,789	△375	3,413

(注) 1 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、ビルメンテナンス事業、太陽光発電事業などを含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△375百万円には、セグメント間取引消去45百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△421百万円が含まれております。なお、全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術研究費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	1,620百万円	1,776百万円

## 3. 補足情報

## (1) 四半期毎の業績の推移 (連結)

2026年3月期 (連結)

(単位: 百万円)

	第1四半期 2025年4月～6月	第2四半期 2025年7月～9月	第3四半期 2025年10月～12月	第4四半期 2026年1月～3月	通算 2025年4月～2026年3月
売上高	31,876				31,876
売上総利益	10,716				10,716
営業利益	3,413				3,413
経常利益	4,033				4,033
税金等調整前当期純利益	4,552				4,552
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,810				2,810
総資産	256,085				—
純資産	215,591				—

2025年3月期 (連結)

(単位: 百万円)

	第1四半期 2024年4月～6月	第2四半期 2024年7月～9月	第3四半期 2024年10月～12月	第4四半期 2025年1月～3月	通算 2024年4月～2025年3月
売上高	30,344	32,388	33,723	35,824	132,281
売上総利益	10,475	10,555	11,332	11,545	43,909
営業利益	3,654	3,482	4,169	3,691	14,998
経常利益	4,909	3,997	5,286	5,742	19,936
税金等調整前当期純利益	4,944	4,027	5,231	5,499	19,702
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,024	2,869	3,665	3,552	13,112
総資産	266,910	265,566	264,483	267,250	—
純資産	223,068	225,074	220,208	223,298	—

2024年3月期 (連結)

(単位: 百万円)

	第1四半期 2023年4月～6月	第2四半期 2023年7月～9月	第3四半期 2023年10月～12月	第4四半期 2024年1月～3月	通算 2023年4月～2024年3月
売上高	28,622	29,889	32,528	34,044	125,085
売上総利益	9,672	10,458	11,362	11,200	42,693
営業利益	3,179	3,727	4,401	3,949	15,258
経常利益	4,274	4,952	5,469	5,249	19,945
税金等調整前当期純利益	4,285	4,764	5,612	6,272	20,935
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,698	3,131	3,445	3,919	13,194
総資産	239,330	251,270	255,717	269,819	—
純資産	200,200	208,438	211,704	219,885	—

## (2) 報告セグメントの所在地別売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

報告セグメント		売上高				セグメント利益又は損失(△)			
		前第1四 半期連結 累計期間	当第1四 半期連結 累計期間	増減額	増減率	前第1四 半期連結 累計期間	当第1四 半期連結 累計期間	増減額	増減率
薬品 事業	日本	7,851	8,330	479	6.1%	1,360	1,176	△184	△13.6%
	アジア	5,940	6,084	143	2.4%	1,102	1,062	△40	△3.7%
	欧米	254	188	△66	△26.0%	38	16	△22	△58.0%
	セグメント間 の内部売上高 又は振替高	355	355	0	0.1%	172	175	2	1.7%
	計	14,401	14,959	557	3.9%	2,674	2,430	△244	△9.1%
装置 事業	日本	2,015	2,928	913	45.3%	△57	△85	△28	△49.2%
	アジア	1,626	1,317	△308	△19.0%	37	△51	△88	△238.0%
	欧米	342	251	△91	△26.8%	44	28	△16	△36.1%
	セグメント間 の内部売上高 又は振替高	83	169	86	103.9%	10	6	△3	△34.4%
	計	4,068	4,666	598	14.7%	34	△101	△136	△391.0%
加工 事業	日本	6,077	6,411	333	5.5%	742	1,066	323	43.5%
	アジア	3,148	3,086	△62	△2.0%	398	361	△37	△9.4%
	欧米	2,476	2,625	149	6.0%	67	57	△10	△15.3%
	セグメント間 の内部売上高 又は振替高	12	10	△2	△20.8%	13	21	7	54.3%
	計	11,715	12,133	418	3.6%	1,223	1,506	283	23.1%
報告セグメント計		30,185	31,759	1,574	5.2%	3,932	3,835	△97	△2.5%
その 他	日本	611	653	42	6.9%	△11	△46	△34	△302.7%
	アジア	—	—	—	—	—	—	—	—
	欧米	—	—	—	—	—	—	—	—
	セグメント間 の内部売上高 又は振替高	11	1	△10	△86.0%	0	0	—	—%
	計	622	654	32	5.1%	△11	△46	△34	△305.8%
合計		30,807	32,413	1,606	5.2%	3,921	3,789	△132	△3.4%
調整額		△462	△537	△74	△16.0%	△266	△375	△109	△40.9%
連結損益計算書計上額		30,344	31,876	1,531	5.0%	3,654	3,413	△241	△6.6%

## 所在地別セグメント情報

(単位：百万円)

所在地	売上高				営業利益			
	前第1四 半期連結 累計期間	当第1四 半期連結 累計期間	増減額	増減率	前第1四 半期連結 累計期間	当第1四 半期連結 累計期間	増減額	増減率
日本	17,507	19,369	1,862	10.6%	2,106	2,157	51	2.4%
アジア	10,784	10,524	△259	△2.4%	1,532	1,375	△157	△10.3%
欧米	3,073	3,088	14	0.5%	150	101	△48	△32.4%
合計	31,365	32,982	1,617	5.2%	3,789	3,634	△155	△4.1%
調整額	△1,020	△1,106	△86	△8.4%	△135	△221	△86	△64.0%
連結損益計算書計上額	30,344	31,876	1,531	5.0%	3,654	3,413	△241	△6.6%